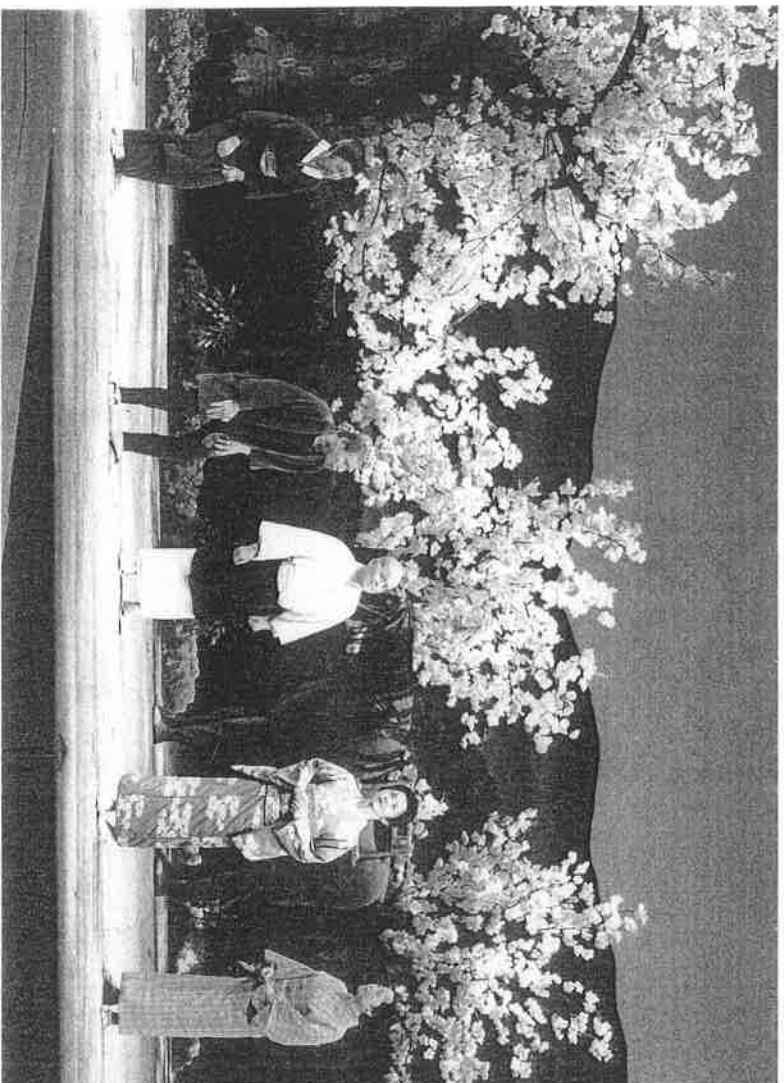


熊本演劇人協議会 (地域文化活動部門)



概要

設立年月 昭和四十五年四月

会長 渡辺 恭士

会員数 加盟劇団 六劇団

(構成人員数 九十名)

所在地 熊本市大江二七一

電話番号 〇九六一三六三一二三三三

主な活動地 熊本県内

昭和四十三年県下唯一の本格的な大型文化施設として、熊本市市民会館が完成したことを機として、在熊のアマチュア劇団を糾合し、本格的な演劇活動を目指そうという動きが始まった。「熊本演劇人協議会」は、このような中で、昭和四十五年、劇団・市民舞台、劇団・梨の会、劇団・石、RKK放送劇団の四団体により結成発足し、第一回目の合同による舞台創造活動を行った。

以降、地域に根差した、地域ならではの演劇を求めて、共同の作業を継続した。第一回、阿部一族の事件を素材としたオリジナル脚本、第二回木下順二作品、以下、地元作家の創作戯曲を舞台化してきている。

協議会は、加盟劇団の主体的活動を尊重すると共に、その活動には相互に協力して舞台の充実を図り、熊本の演劇状況の向上進展を目指している。その意味で、昭和五十年に、熊本演劇フェスティバルを企画創設し、例年、熊本市芸術祭のフナイレ事業として継続実施してきた。また、熊本の演劇レベルの向上を目的とした、演劇講習会を主催し、広く県下アマチュア演劇、青年演劇、高校演劇関係者を対象として、基礎的あるいは専門的講習を継続実施してきた。

平成六年、協議会結成二十五周年を記念して、これも本格的演劇専用ホールとして全国でもトップクラスの熊本市立劇場での公演を行ったが、理想的な舞台条件を備えた同ホールの機構をフルに駆使した演劇は、いわば県下で初の試みでもあったため大きな収穫を得た。

平成八年は、夏目漱石来熊百年のイベントが数多く催されたが、熊本市市民会館の自主製作の創作劇「夢・草枕」には、熊本演劇人協議会が全面企画し、公演まで完成した。また、同作品を文化庁主催芸術祭の「地域劇団・東京演劇祭」に招聘され、東京公演を行ったが、このことも、地域で活動してきた演劇関係者に、大きな刺激となり、また、自信と誇りを与えたという意味で、得難い収穫となっている。

これまでの活動歴

- ◆合同公演の開催
 - ・昭和四十五年 在熊四劇団により「熊本演劇人協議会」結成
 - ・昭和四十五年 合同公演『阿部一族』（渡辺美茂・作）
 - 以後合同公演 昭和四十六年『おんによる盛衰記』『瓜子姫とあまんじやく』（木下順二）昭和五十二年『現車』（福島次郎・作）昭和五十四年『三番隊出撃す』（木村祐章・作）『命なりけり』（島本新太郎・作）昭和五十五年『熊本シネマ巷談』（藤川治水・作）昭和六十年『千里眼の女』（光岡明・作）
- ◆熊本演劇フェスティバルの主催
 - ・昭和四十九年 第一回、平成八年 第十二回
 - ◆演劇講習会の主催
 - ・昭和五十年 第一回、平成八年 第二十一回演劇フェスティバル
- ◆熊本演劇フェスティバルの主催
 - 文化庁主催・地域劇団東京演劇祭『夢・草枕』公演
 - 夏目漱石来熊百年 熊本市市民会館自主事業『夢・草枕』（平藤一利・作）
 - 平成三年
 - 平成六年
 - 平成八年
- ◆熊本演劇フェスティバルの主催
 - ラフカディオ・ハーン来熊百年記念 熊本市市民会館ヒューマンステージ『ヘルンさんの熊本』（緒方惇・作）
 - 演劇人協議会結成二十五周年合同公演『俺たちは天使じゃない』